

修了、紺碧賞、おめでとうございます。

～喜びの声、お祝いの声～

修了生のメッセージ

このたび修了された189名の中より、2名の方から喜びのメッセージをお寄せいただきました。

生涯、学びの心をもって

中野 寿子さん (1997年入会)

「学びたい」と思った時に目にしたのは、早稲田大学のオープンカレッジのパンフレットでした。学生時代とは違い、さまざまな年代や職種の方と学ぶことは私にとって新鮮でとても楽しいものでした。修了生になるまで続けられるとは思っていませんでしたが、ここまで長く学び続けることができたのは、教えていただいた先生方の丁寧で分かりやすい講義のおかげだと感謝しております。心理学を始め自分が興味を持ったさまざまな分野の勉強をすることができました。学ぶことの楽しさだけでなく、素晴らしい先生方や友人に出会えた事は私の財産になりました。生涯学び続けることを忘れずに、今よりもさらに成長できるよう努力していきたいと思っております。

「継続は力」にしたいですね

熊原 臣公さん (2004年入会)

年間を通して学んでいるのは英会話の講座で、時折ビジネス講座を受講しています。エクステンションセンターを知ったのは、書店にパンフレットが置いてあったのがきっかけです。仕事で必要に迫られ、学び始めた英会話は挫折することもなく、講師のユーモアに溢れながらも丁寧な指導で続けられています。また、ビジネス講座では、以前に読んだ仕事で役立つ書籍の著者が実際に講義を担当されていて驚きました。書籍を上回る内容で実務にも十分使うことができました。また懇親会や勉強会などを通して、さまざまな意見を聞けるのは貴重な経験です。講師、受講生の皆様へ感謝しています。

紺碧賞受賞者のメッセージ

このたび紺碧賞を受賞された52名の中より、2名の方から喜びのメッセージをお寄せいただきました。

26年目の感慨

上岡 朗夫さん (1988年入会)

私は40歳で入会をいたしました。当時は仕事に直結するHOW・TOの習得に追われていて、あらためて体系的に勉強をしたいと思いついたのが入会のきっかけです。そのため、最初のころは「マーケティング」等いわゆる、実学に関する講座の受講がほとんどでした。その後、自分の趣味を深めたいと思うようになり、龍居竹之介先生の「倒叙日本庭園史」は15年目となりました。アカデミックな場所で、一流の講師により深く物事を学ぶことができるのは素晴らしいことだと思います。セミリタイアの身となりましたので今後も早稲田の杜に通い続けたいと思っております。

「論語」と「江戸の数学」を楽しみつつ

岸本 喜久子さん (1988年入会)

心身ともにストレスでいっぱいだった時、学びたい気持ちに火をつけたのは新聞のオープンカレッジの記事でした。早速、廣瀬健先生の「数学における数と表現の文化史」他を受講。2年後から村山吉廣先生の「中国古典を読む」を受講。その講義、お人柄に魅せられて受講を続け、学ぶ楽しみ苦しみを味わいながら、二度の完読。でもまだまだ難解です。論語を学び始めてから書を読み、また旅に出ても素通りに近かったお掛軸、碑などに足をとめる楽しみが増えました。「継続は力なり」と先輩の励ましや、良き同輩に恵まれ感謝しつつ、いつまでも好奇心を失わず年を重ねたいと思っております。「論語」と「江戸の数学」を楽しみつつ。

講師よりメッセージ

早稲田大学教授 冬木 ひろみ先生

●2013年度ご担当講座

「シェイクスピアのことばと文化－映像と原文で味わう『リア王』－」
「シェイクスピアの舞台と映画－イギリスと日本－」
【早稲田大学演劇博物館 連携講座】



修了生の皆さん、紺碧賞受賞の皆さん、本当におめでとうございます。私はシェイクスピアの講座を10年ほど続けておりますが、受講生の皆さんの真剣な、時には食い入るようなまなざしに最初は圧倒されたものでした。人生への深い認識と知的な好奇心に満ちた皆さんからの鋭いご意見は、私にとりまして大きな刺激になります。成果や結果がすぐには見えないけれど、学び続けることの価値を一番分かっていらっしゃるのが受講生の皆さんのように思われます。これからもさまざまな講座が皆さんの人生を彩りますよう、心から祈っています。

早稲田大学教授 福家 俊幸先生

●2013年度ご担当講座

「『大鏡』を読む」



修了生の皆さん、紺碧賞受賞の皆さん、おめでとうございます。長い間のご努力の賜物に存じます。私も、受講生の皆さんの熱心さに感嘆しながら、また時にたじろぎながら、平安時代の仮名日記や歴史物語をご一緒に読んできました。最初に講座を持ったのは、まだ30代でした。時は移りましたが、変わらないのは皆さんの学ぶ姿勢です。学びにゴールがないことを皆さんは身をもって教えてください。本当はどちらが教わっているのかわかりません。ますますのご発展とご多幸を心よりお祈り致します。

Commendation